

銀杏

発行所
〒792-0835
新居浜市山根町8番1号
曹洞宗瑞應寺専門僧堂
編集発行 瑞應寺
電話(0897)41-6563
FAX(0897)40-3127
https://zuioji.jp
毎月1日発行
(振替 01330-2-31918)
瑞應寺
印刷所 東田印刷株式会社

碧巖録物語独語【三十】

後堂 門原 信典

第十九則「俱胝一指頭」寐語⑩
〔莫妄想(一)〕
〔評唱〕

かつて中国の歴代王朝が佛教を弾圧した事件があり、なかでも規模が大きく、後世への影響も大きかったのが、四人の皇帝の廟号や諡号をとって「三武一宗の法難」と云います。三武は北魏の太武帝(四二三〜四五二)、北周の武帝(五六〇〜五八〇)、唐の武宗(八四〇〜八四六)。一宗は後周の世宗(九五四〜九五九)による廃佛毀釈です。

特に北魏の太武帝の廃佛は、寺院、佛像、經典をことごとく破棄し焼却、僧侶も生き埋めにされるなど激烈なものでした。ここで私は達磨大師と梁の武帝の問答を想起しました。

達磨大師はインドから中国に坐禪を伝えます。当時中国は梁

と云う時代で、皇帝であった武帝(四六四〜五四九)が達磨大師に問いかけます。

「朕即位已来、造寺写經、度僧不可勝紀、有何功德」
師曰「竝無功德」——正法眼蔵行持の巻——

梁の武帝は皇帝菩薩と呼ばれる程の佛教篤心者でした。しかし武帝は迷っていました。「今まで多くの三蔵法師によつてこの国に經典は伝わった。私は皇帝に即位して(五〇二)梁朝を建国、そして佛様を信じ(帰依佛)多くのお寺を建立、經典を作り(帰依法)、沢山の僧侶を育ててきたが(帰依僧)、本当のみ佛様の功德とは何か、それを教えてくれる師匠が居ない」と。そこではるばるインドから来られた達磨大師に初対面できなりその疑問をぶつけます。

達磨大師は「無功德」そんな功德など無いよ。と読めますが、実は「無為の功德」と答えたのです。私達は檀信徒の方々の菩提心と三宝供養の尊い功德のお陰で、お寺で生活し、曹洞宗の僧侶として、迷いながらも坐禪を勤めさせていただけです。

私が現在住職をしている中国地方の山間部も、過疎化は進み空き家が増えていくばかりです。家は人が住んで生活しなければ家には成らないのです。お寺があつて佛像や經典もあり、お坊さんが住んで坐禪を勤めてこそ帰依三宝の功德が生きてきます。この坐禪が武帝の探し求めていたみ佛様の功德でした。これ以上の絶対の功德は無いのです。それが「無為の功德」。

曹洞宗寺院では結制という行持を勤め、大和尚の資格を得て緋の佛衣を着る事が出来ます。緋の色には魔除けや貪瞋癡を滅する等の由来がありますが、ただの裝飾ではなく、達磨大師の緋赤)です。達磨大師に代わつて禪を説くのです。ですから、結制では住職からの命を受けて説法する首座法戦式の主題の多くは、先ほどの達磨大師と武帝の問答が中心となります。

「三武一宗の法難」は寺院、經本も無く、僧侶も居なくなり、それまでの尊い三宝供養の功德も破壊されます。ところが、菩提心のある坐禪人は、伽藍も經典も無く、僧の姿をしていなくても、或いは農民の暮らしをしながら、或いは深山幽谷に小さな庵を構え、誰に知られることも無くひっそりと佛祖正伝の坐禪を勤めていくのです。大自然という伽藍に包まれ(佛)大自然に学び(法)大自然に励まされる(僧)帰依三宝の姿、大自然に供養されていたのです。大智禪師は「白雲為我坐禪衣」(白雲我が坐禪の衣となる)さらに「佛祖の正伝はただ坐にて候」。道元禪師は正法眼蔵歸依三宝の巻に「西天(インド)東土(中国)佛祖正伝する所は恭敬佛法僧なり」(修証義第三章)とお示しです。実は私達の身体の構成も、この宇宙の仕組みも全て帰依三宝の姿、無為と云う真実の姿です。

【天龍の一指頭】
これから登場するのは實際尼、天龍和尚、俱胝和尚です。中国が唐と云われた時代、皇帝武宗による廃佛毀釈は四六〇〇ヶ寺を廃し、二十六万人の僧侶を還俗(世間に戻す)させました。昨年(銀杏四月号)に馬祖道一禪師の紹介をさせていただきました。したが、馬祖様のお弟子様の實際尼が、師匠と弟子の系図の上では甥に当たる天龍和尚に話しかけます。

「天龍和尚よ。あなたの師匠の大梅法常禪師は、馬祖様より『即心是佛』の教えを受け、只一人山にこもつて松の実を食し、蓮の葉を衣とし、眠らぬよう、姿勢を崩さぬように、八寸の鉄塔を頭に載せて正身端坐を貫かれること四十年。それは過世的な世捨て人の姿ではありませぬ。佛祖正伝の坐禪の相統です。あなたは今その教えを伝える時が来ました」

天龍和尚「實際尼様、私は大梅法常禪師の坐禪のお姿から真の衆生済度を学びました。その坐禪が必ずや全人類の絶対の安心として、いつの日か世に広まる事を信じています」

實際尼「今、世の中は武宗皇帝の廃佛のせいで多くの僧侶はお坊さんをやめてしまいましたが、私は行脚の旅を続けました。しかし、真実の道を求めようとしている人は必ず居ると信じ、私は行脚の旅を続けました。婺州金華で俱胝和尚と云う人の噂を聞いて庵を尋ねてみると、そこには農民の姿をして静かに暮らしている一人のお坊さんが居ました」(続く)

タバコが壊す人権・平和・環境

子どもに作らせているタバコと積尊の願い

高岩寺 来馬明規
東京東鴨とけぬき地蔵尊高岩寺住職・医師・医学博士
東北福祉大学客員教授 日本禁煙学会役員

【はじめに】

毎年5月31日は国連の専門機関、世界保健機関(WHO)が定める「世界・ノー・タバコデー」です。本誌はこの日に引き続き「禁煙週間(5月31日〜6月6日)」期間中に、皆様のお手元に届くことと思います。

先月はタバコまつわる欺瞞「吸い込め詐欺」を説明しました。今月は曹洞宗の標語でもある「人権・平和・環境」(1)が、タバコ製品の製造販売を通して踏みこじられている現実を観ていきます。(2)

【曹洞宗の実践は積尊の願い】

私たち曹洞宗は、1992年より「人権の確立、平和の維持、環境の保護」を、2019年より「持続可能な開発目標(SDGs)」を教団全体で推進していくことを表明し、宗門が社会において果たすべき役割を明らかにしています。(1)

筆者は、曹洞宗門の取り組みは、積尊から脈々と受け継がれる「幸福の願い」の実践であり、決して世間の動向に便乗した活動ではないと考えています。

積尊が示された有名な詩偈を引用します。

いかなる生物(いまのしやうぶい)生類(せいりゆう)であつても
一切(いっさい)の生きとし生けるものは
幸(さい)せてあれ
積尊「スツタニパータ」
「慈しみ」(3)

右の(中略)の中には「怯(おそ)えているものでも強剛(きやうこう)なものでも、悉(ことごと)く、長いものでも、大きなものでも、中(な)くらしいものでも、短いものでも、微細(びさい)なものでも、粗大(そだい)なものでも、目(め)に見えるものでも、見えぬものでも、遠(とほ)くに住(す)むものでも、近くに住(す)むものでも、すでに生(な)まれたものでも、これから生(な)まれようとするものでも」という長い語句が入ります。インド社会が引きずってきた身分制度(カースト・ヴァルナ)に対する反駁(はんばく)や、インド文化が継承(けいしょう)してきた「非殺生・非暴力」(アヒンサー)の尊重を連想させます。

幸福の定義には深入りしませんが、人間の権利(けんり)そしてすべての生き物の平和と環境の保全は、積尊が

示す「幸福の願い」を実現するため
の要素であり、この詩偈の現代的
解釈と受けとめても、大きな齟齬(そご)
はないように思います。



【葉タバコは子どもに作らせている】

ところが、タバコは常に不幸の要素(ようそ)が付き纏(まと)います。タバコ製品の製造過程(せいぞう)を最初(さいしょ)からたどっていくと、タバコ製品が差別(さべつ)や環境破壊(かんげい)も顧みず、利潤追求(りどん)のために生みだされていることが見えてくるからです。

「紙巻タバコ」は農産物「葉タバコ」を加工した工業製品です。依存性(いそせい)薬物「ニコチン」を吸引(きゅういん)する目的(もく)で提供(ていきやう)されますが、原材料(げんざい)のニコチンが葉タバコとして作られるのは、化学合成(けがく)で造るよりも、開発途上国(かいはつ)の農地で作る方が安上がり(やすあがり)だからです。写真はアフリカの最貧国(さいひん)のひとつ、マラウイの葉タバコ農園(のうえん)で働く子どもたちです。(4)マラウイは葉タバコを主要輸出産品(しやうやく)とする「葉タバコの国」。

長年(ながねん)にわたりタバコ産業(さんぎや)が一国の農業(のうぎや)、経済(けいぎ)を支配(しはい)し、政治(せいぎ)にも深い繋(つな)がりを築(た)ってきました。同国(どうこく)の葉タバコ農園(のうえん)では、幼い子どもたちが1日(いちにち)10円(じゅうえん)ほどの日当(にちご)で働(はたら)かされています。しかも、経皮(けいひ)吸収(きゅうしゆ)されるニコチン(にこちん)に蝕(く)まれ、職業性(しごくせい)ニコチン中毒(ちゆうどく)「緑タバコ病(りよく)」「グリーンタバコ病(りん)」を繰り返(くりか)し、なかには短命(たんめい)の子(こ)もいます。子どもたちは収穫(とく)の季節(きせつ)には学校(がっこう)に行(い)けず、終日(しゅうじつ)農作業(のうぎや)に従事(じゆんじ)します。地域(ちいき)の教育(きやういく)や公衆衛生(こうしゆせい)の水準(みづじゆん)は低(ひ)く、致死(しつじ)的(てき)ウイルス感染(かんせん)症(しやう)・AIDSも蔓延(まんえん)し、きびしい社会環境(しゃかい)が子どもたちの福祉(ふくし)と健康(けんこう)を脅(おそ)かしています。

【映画の深読みで見える 葉タバコ耕作の悲劇】

2018年に制作された映画『風(かぜ)をつかまえた少年(せうねん)』(6)は、マラウイの小さな村(むら)の少年(せうねん)ウイリアム・カムクアンバ(7)が、逆境(ぎゃくけい)の中(なか)、独学(どくがく)で風力(ふうりき)発電(はつでん)と灌(かん)がい設備(そび)を作り、部落(むら)を干ばつ(かんばつ)から救(きう)った実話(じつわ)に基づ(た)づくサクセス・ストーリー(せい)です。

葉タバコ耕作(くわさく)の問題(もんだい)は映画(えいが)の主題(しゆだい)ではありませんが、①食(た)べられない葉タバコ(は)を耕作(くわさく)しながら、干ばつ(かんばつ)と飢饉(きげん)に苛(こ)まれる矛盾(むじゆん) ②洪水(こうずい)を招(まね)き貴重な表土(ひょうど)を流失(りゅうしつ)させ、食糧(じきりやう)問題をさらに悪化(あくわ)させてしまつのに、飢饉(きげん)に喘(あえ)ぐ農民(のうみん)に森林伐採(しんりん)を持(も)ちかけ、木材(もくざい)を安く買(か)いたたい葉タバコ乾燥(かんばう)の燃料(ねんりょう)にするタバコ産業(さんぎや)の手法(ていぽう)、③政府(せいふ)の役人(やくにん)が、食料(じきりやう)援助(えんじゆ)を求めて政府(せいふ)を批判(ひはん)する地域の長老(ちやうらう)を、演台(えんたい)から引きずり下(くだ)ろし、

暴力を振るう場面などが、隠さず
に描かれています。

本作品は小さな英雄が誕生した
背景にあるもの――タバコ利権が
アフリカの小国の政府を飲み込んで
政治経済を操り、労働搾取と環境
破壊を通して巨額の利潤を貪って
いる実態を明解に表現しています。

『風をつかまえた少年』はネット環境
があれば、アマゾン、アップル、
楽天などを通して安価で視聴可能
です。読者の皆様にはぜひ観て
いただきたい作品です。(6)

【巨額賠償でも倒産しない】
このように、葉タバコ生産国で
は、小児労働・労働搾取が人権を
奪い、タバコ製品の消費国では
吸い込め詐欺で喫煙者の時間、財産
命を取りあげて、国の医療財政を
圧迫しています。

ですから、タバコ産業は国際的に
強く非難され、各国の行政機関から
ケタ外れの賠償を請求され、巨額の
賠償金を支払い続けています。1998
年には、米国のタバコ産業各社が
46州の超過医療費に対して、巨額の
賠償金を支払う基本和解合意MSA
が成立しました。最新のデータに
よれば、各州政府に総額約29.5兆
円が支払われてきました。(8)また、
カナダでは今年3月に約3・6兆
円を払う和解が成立しています。
これほどの賠償金を支払っても倒産

せずに、莫大な利潤を生み出し
続ける構造は、ニコチンの強い
依存性が支えているのです。

【国連の懐柔を企てるタバコ産業】
その一方で、タバコ産業はWHO
を初めとする国連の諸機関に干渉
し、タバコ規制を妨害してきました。
労働問題についても国際労働
機関(ILO)に巨額の資金を提供
して善良な企業を演じ、「葉タバコ
生産の労働問題は解決済」という
報告書を、ILOから提出させま
した。しかしILOは強い批判を
受けて、2018年にタバコ産業

との関係を終えています。(9)
【善意を装う団体が隠れみの】
ILOに干渉出来なくなったタバコ
産業たちは、2000年に「葉タバコ
生産から小児労働を排除する財団
(ECLT)」を設立し、小児労働対策
に取り組んでいるように装う活動を
始めました。ECLTは、タバコ産業
が本来参加できないはずの国連関連
団体、国連グローバルコンパクト
(UNGC)に加盟することに成功し、
タバコ規制政策に再び干渉や妨害を
続けています。

【まずは情報の理解と共有から】
このように、タバコ産業は「ニコチン
の依存性を悪用した薬物ビジネス」
であり、喫煙者から健康、時間、
金を奪うばかりか、タバコ規制を
進める国連・WHOに干渉し、その

製造過程においても人権を侵害し
ながら、巨額の利潤を得ていること
がわかります。さらに批判をかわす
ためにあの手この手で偽善活動に
動いているのです。筆者は本稿に
示すような情報の共有が、冒頭に
示した「釈尊の願い」、そしてSDGs
を実践する一歩になると信じます。
最後に、宗門の各寺院で喫食の
際に唱えられる、「五観之偈」を引用
しましょう。

「には功の多少を計り
彼の来処を量る
【現代語訳】目の前にある食事が
大自然や多くの人々の働きによつて
もたらされたことを思い知り感謝
していただきます

さて、喫煙する皆様に伺います。
目の前の一本のタバコを吸う時
あなたは「子どもの労働」という背景
に思いを馳せていただけますか？
【参考】
「タバコ規制枠組条約(FCTC)」の
推進は、ゴール3aとしてSDGs
に含まれます。

(1)「人権・平和・環境 SOTOZEN-
NET」曹洞宗ホームページ：
<https://www.sotozen-net.or.jp/activity>
(2)本稿は既発表の小著を改稿して
お伝えしています。筆者は反タバコ・
禁煙推進団体等から一切資金提供を
受けておらず、本稿は無償で投稿し

ています。
①「すこやかに生きるために」筆者
『おたよ里』第163号P.10〜18
令和6年1月1日、曹洞宗尼僧団

②「タバコが奪う人権・環境・平和」
筆者、「公衆衛生」医学書院令和2年
4月号 P.210〜211!
③「急募・タバコに感染した地球の
担当医」筆者、「都医ニュース」第60号
平成28年6月15日(HPよりPDF
取得)可東京都医師会

④「地球の毒一掃し健康に」筆者、
『医僧いのち語り・下』『東京新聞』
令和2年10月13日朝刊
⑤「フツダのことは」スッタニパータ
『第一蛇の章八慈しみ』第146、147頁
中村元訳 岩波文庫

(4)写真「タバコ産業はSDGsを
ハイジャックしている」アプス
ハーゲンMLら、「Hijacking SDGs?」
Bread for the World.(HDより

テレホン簿 〇八七四一〇〇三三
禅のたより
◆自分を大事に、人に親切に
むかしむかし、お釈迦様がまだ
ご在世の頃の、ある国の王様とお
きさき様のお話です。
ある日、王様がおきさき様に尋
ねられました。
「この世で一番大切な人はだれだ
おきさき様はしばらく悩まれたの
いつ？」

原文PDF取得可。
独NGO環境開発フォーラム
2018年、写真左 Wanzeck M.
2010年ドイツ写真家私信

(5)「児童労働・強制労働によって生産
された商品リスト」米労働省ホーム
ページ2024年(英文)。
(6)映画『風をつかまえた少年』ロング
ライド配給2018年。
<https://longride.jp/kaze/>

(7)ウイリアム・カムクアンハワイキ
ペディア日本語版。
(8)タバコフリーキッズファクトシート。
<https://tobaccofreekids.org>。
(9)「国連はタバコ産業との関係を断ち
切らなければならない」アスタ・M
2021年。
To End Child Labour, the UN
Must Cut Ties with Tobacco
Industry. Assunta M. Health
Policy Watch ホームページ。

ち、こう答えられました。
「王様、よくよく考えてみました。
王様も、王子のことも大事ですが、
私はやっぱり私が一番大切です。」
王様は、「王様、あなたです。」と
いう答えを期待していたので
ちよつとがっかり。そんな様子を見
たおきさき様が尋ねられました。
「では、王様は誰が一番大事だと思
いますか？」
王様もしっかり考えられたのち、
こう答えられました。
「妃よ、わたしもやっぱり自分が

「妃よ、わたしもやっぱり自分が

「一番大事だと思う。」
二人の答えは「一緒だったけれど、これで本当にいいのだろうか?と、なんだか釈然としないおふたりは、お釈迦様にこのことを尋ねに行きました。」

お釈迦様はこのお話を聞いて、少し考えたのちにこうお答えになりました。

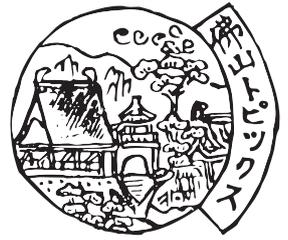
「その通りです。人はどうあつても、自分が一番大事なのです。同じように、他の人もみなそれぞれ、たった一つの大事な命を生きています。だから、人の悲しむこと、嫌がることをしてはいけないのですよ。」

その後、王様はこのお釈迦様のお言葉を大事に、国を治められたそうです。

我々はどうしても自分がかわいい、そして次に自分の周りがかわいい、うっかりすると、知らない人のことなんてどうだっていい、となってしまう。また逆に、自分のことはどうだっていいから、と大事にしないでいると、本当に他人を大事にするということがわからなくなります。

毎年のように起こる天災、目を覆いたくなるようなニュース。溢れる情報の中で感情の薄れがちな現代社会だからこそ、このお言葉を大事に、心掛けていきたいものであります。

瑞應寺専門僧堂知殿 古川承久
令和七年五月一日(十古)



■夏安居入制

五月十四日(水)より、配役行茶、入寺式、楞嚴会啓建等、入制行持が行われ、三ヶ月の夏制中に入った。制中の第一座にあたる首座は前田聖也(兵庫県慶安寺徒弟)が務める。
山内大衆乳水和合し、今制中切磋琢磨・辨道精進し、仏道修行の無事円成を誓願した。



入寺式

銀杏感謝録

大阪府	松田志保子殿
東京都	志々目雅章殿
愛媛県	無量寺殿
愛媛県	大雄寺殿
愛媛県	善光寺殿
愛媛県	西願寺殿
長崎県	洪徳寺殿
北海道	長福寺殿
新潟県	普濟寺殿
鹿児島県	大中正殿
福岡県	大満寺殿
愛媛県	大澤慎士殿
新潟県	広厳寺殿
岩手県	恩流寺殿
長野県	村上泰助殿
神奈川県	東昌寺殿
山口県	河村智殿
大阪府	船越久人殿



人事行礼

五月の日鑑

三重県	泰応寺殿
広島県	長福寺殿
広島県	東光寺殿
愛媛県	神野英雄殿
広島県	長全寺殿
愛媛県	戸梶元齊殿
北海道	総泉寺殿

(令和七年五月十四日受付迄)

六月の予定

一日	祝祷・日曜参禅会
八日	日曜参禅会
十五日	祝祷・日曜参禅会
十八日	観音講(仏教勉強会)
廿二日	日曜参禅会
廿四日	参玄会(廿六日迄)
廿九日	日曜参禅会

※日曜参禅会・参玄会(摂心・観音講(仏教勉強会)はどなたでもご参加いただけます。ぜひご参加下さい。



鐘声

すっかり季節が移り、本格的に暖かくなってまいりました。瑞應寺では、5月中旬から夏の修行期間に入り、いつもよりも気を引き締めて一同修行に励んでいます。

道元禅師の教えの一つに「愛語」というものがあります。これは字のとおり「愛のある言葉」「思いやりのある言葉」という意味です。道元禅師は「人に会ったら慈愛の心を起こし、愛のある言葉をかけましょう」と説かれています。

修行というと厳しいものを連想しますが、思いやりのある言葉を選んで使うことも大事な修行の一つです。思いやりの心を持ち、またそれを言葉にすることは、簡単なようで意識しないと意外とできないものです。私自身も、この「愛語」を意識しながら弁道に励みたいと思います。 受処主事 森香有

瑞應寺公式ホームページ
を開設しました

4月より
公開しました



<https://zuioji.jp>